



## 第4章 学校施設整備の基本的な方針等

### 1 学校施設の規模・配置計画等の方針

総合管理計画や学校施設の目指すべき姿を踏まえ、本計画における学校施設の規模・配置計画等の方針を設定しました。

#### 【安全・防災面】

##### ◆安全性に配慮した整備

児童・生徒が安心して学習できる環境を整えるために、現段階で経年劣化の進んでいる部位の修繕だけでなく、計画的に維持保全や改修を行う「予防保全型」に転換することで、学校施設の長寿命化を進め、施設の安全性の確保に努めます。

##### ◆避難所としての整備

避難者の安全を確保するための対策や避難生活での環境面へ配慮など、防災機能の強化を進めます。

#### 【学習・生活面】

##### ◆教育環境の質的向上

近年の多様な学習内容や学習形態の変化や情報化の進展に柔軟に対応可能な施設計画を検討します。

##### ◆生活環境の質的向上

バリアフリーに配慮し、児童生徒だけでなく、誰もが利用しやすい施設整備を進めます。

##### ◆環境負荷低減への配慮

環境負荷の低減を図るため、省エネルギー機器への更新や再生可能エネルギーの導入を検討します。

#### 【統廃合の検討】

今回の調査において、将来の児童・生徒数が2045年には2020年と比較して約48%減少すると推計しているように、少子化による児童・生徒数の減少や小中一貫教育の推進、施設の老朽化等を踏まえ、持続可能な学校施設の統廃合を検討していきます。なお、昨年策定された「寄居町公共施設等総合管理計画アクションプラン（以下、アクションプランという）」では、以下のとおり計画されております。

##### ◆男衾中学校及び男衾小学校は2025年度を目処に集約

##### ◆城南中学校及び折原小学校・鉢形小学校は、2026年度から2033年度を目処に集約

##### ◆寄居中学校及び寄居小学校・桜沢小学校・用土小学校は、2034年度から2041年度を目処に集約 アクションプランを踏まえ、本個別計画における統合予定時期は、各学校の築年数を基に設定しました。

##### ◆男衾中学校・男衾小学校

男衾中学校校舎の改築工事を行い、2025年度に統合

2021～2024年度：男衾中学校校舎の改築設計・工事実施

2025年度：供用開始

##### ◆城南中学校・折原小学校・鉢形小学校

鉢形小学校校舎が築60年となる時期に合わせて城南中学校校舎の長寿命化改修工事を行い、2031年度に統合する。

2027～2030年度：城南中学校校舎の長寿命化改修設計・工事実施

##### ◆寄居中学校・寄居小学校・桜沢小学校・用土小学校

寄居中学校校舎を長寿命化改修後30年間使い続けるために、築50年目に長寿命化改修工事を完了し、2039年度に統合する。

2035～2038年度：寄居中学校校舎の長寿命化改修工事設計・工事実施

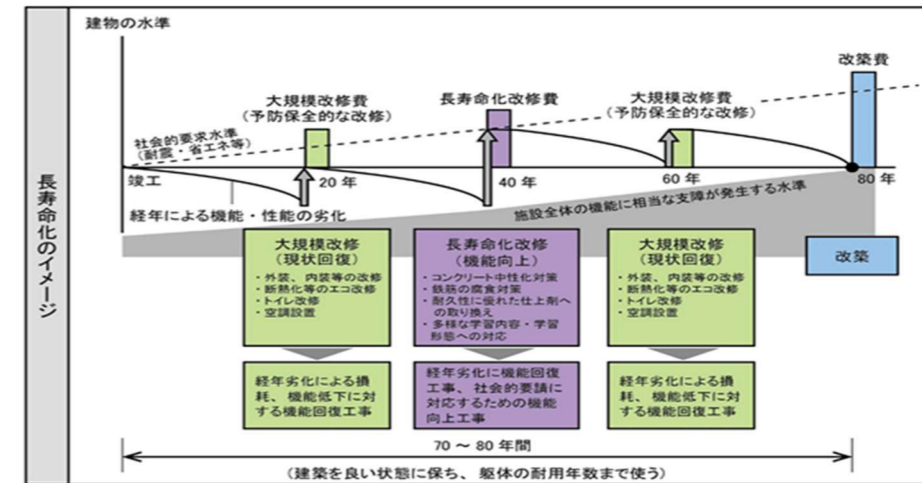
なお、学校の統合については、学校施設が地域の重要な施設であることを鑑み、今後地域住民と十分な話し合いを行い、合意形成を図りながら進めていく必要があります。

#### 【他施設との複合化】

改築等の際に地域ニーズも考慮して、各地域にあるコミュニティ施設等との複合化を検討していきます。

## 2 改修等の基本的方針

目標使用年数は80年（鉄筋コンクリート造・鉄骨造）とし、改修周期は、下図のように20年・60年に大規模改修、40年に長寿命化改修を実施します。



## 3 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

### (1) 改修等の整備水準

これまでの事後保全的な維持管理から予防保全的な維持管理に移行し、施設の長寿命化を図ることで、財政面での負担軽減を目指すとともに、環境面にも配慮します。さらに、老朽化した設備を現在の技術水準で改修することで機能の向上を図り、現代の社会的要求に対応できる施設整備を行います。

### (2) 維持管理の項目・手法等

学校施設の長寿命化を図るためには、計画的な改修工事だけでなく、日常的・定期的な点検や清掃を行うことが重要です。これにより、施設の劣化状況を的確に把握して早期に異常を発見することができ、予防保全による維持管理の推進に繋がります。

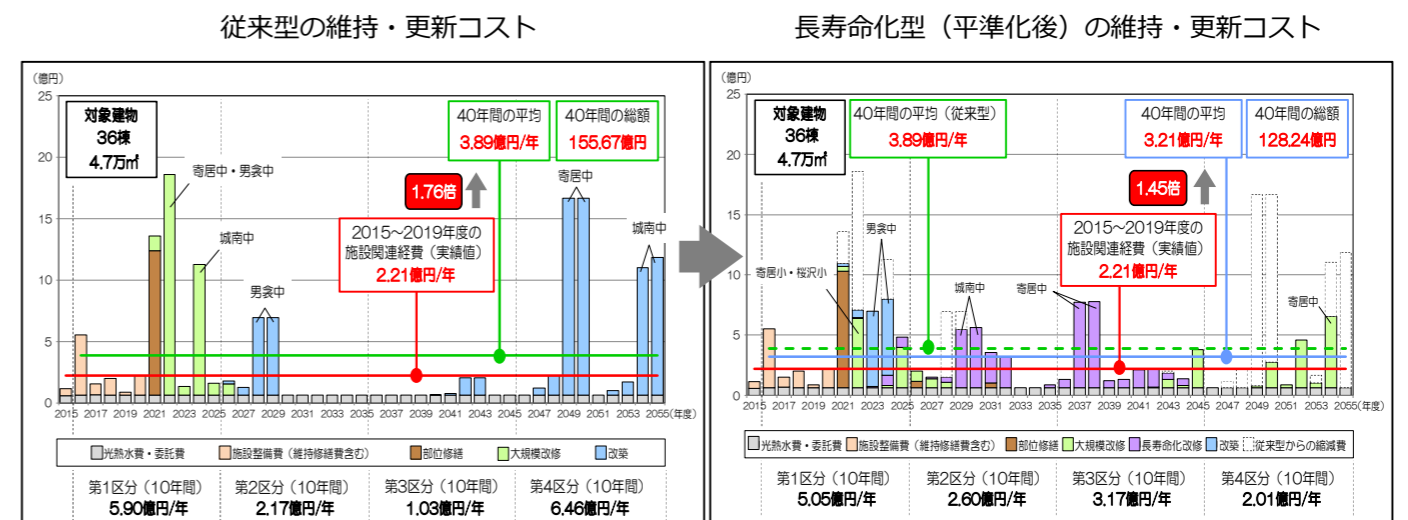
## 第5章 長寿命化の実施計画

### 1 改修等の優先順位付けと実施計画

学校毎に、改築・改修等を一体的に行う建物をグループ化した上で、改築・改修等の優先順位を設定します。

### 2 長寿命化のコストの見通し

従来型から長寿命化型にシフトすることで、40年間の維持・更新コストは総額128.24億円(3.21億円/年)となり、従来の改築(建替え)中心のコスト(155.67億円)よりも27億円以上の経費を削減でき、長寿命化することで一定の効果が見込まれます。



### 3 学校施設の長寿命化に向けた改修計画

学校施設の長寿命化に向けた改修計画

No.	施設名	グループ名	優先順位	建築年度(年)	築年数・工事区分															
					第1区分 (2021~2025年度)				第2区分 (2026~2035年度)				第3区分 (2036~2045年度)				第4区分 (2046~2055年度)			
1	寄居小学校	校舎	3	1974	大規模															
		体育館	22	1983		大規模														
2	梅沢小学校	校舎	6	1969	大規模															
		体育館	8	1971		大規模				部位										
3	用土小学校	校舎1(東)	10	1982		大規模														
		校舎2(西)	20	1991		大規模														
		体育館	21	2003		大規模														
4	折原小学校	校舎1(北)	5	1971	部位															
		校舎2(南)	12	1980	部位															
		体育館	13	1973	部位															
5	鉢形小学校	校舎1(北)	4	1970	部位															
		校舎2(南)	7	1981	部位															
		体育館	9	1972	部位															
6	男家小学校	校舎	11	1977	部位															
		体育館	1	1973	部位															
7	城南中学校	校舎	18	1993					長寿命										大規模	
		体育館/クラブハウス	23	1993				部位				長寿命								
		武道場	24	1994				大規模				長寿命								
8	男家中学校	校舎	2	1967	改築														大規模	
		体育館	17	1981		長寿命													大規模	
		武道場	19	1995					部位				長寿命							
9	寄居中学校	校舎	14	1988	部位							長寿命							大規模	
		体育館/地域・学校連携施設	15	1988								長寿命							大規模	
		武道場	16	1988								長寿命							大規模	

凡例) 部位修繕 : 設計・工事1年    大規模改修 : 設計1年、工事1年    長寿命改修 : 設計2年、工事2年    改築 : 設計2年、工事2年

## 第6章 長寿命化計画の継続的運用方針

### 1 推進体制等の整備

本計画策定後も、学校施設の老朽化は進行し、学校施設に求められる機能や水準も変化していくことが考えられます。本計画は、学校施設を所管する教育委員会が中心となって推進していきますが、アクションプランや寄居町教育大綱との整合を図りつつ、他部署や学校と連携しながら実行することで、推進体制の強化を図ります。

### 2 データベース及び学校維持管理システム構築

今後、学校施設の適切な維持管理を行うために、「学校施設維持管理システム」を作成し、本計画で作成した長寿命化の実施計画に加え、これまでに実施した調査や工事記録等を一括管理します。

### 3 フォローアップ

本計画を着実に進めていくために、以下に示すPDCAサイクルを実施します。また本計画では、学校施設の長寿命化を見据えた整備方針や基本的な考え方を示し、長寿命化の具体的な実施計画については、事業の進捗状況や施設の老朽化の状況を踏まえた上で、適宜見直しを行います。